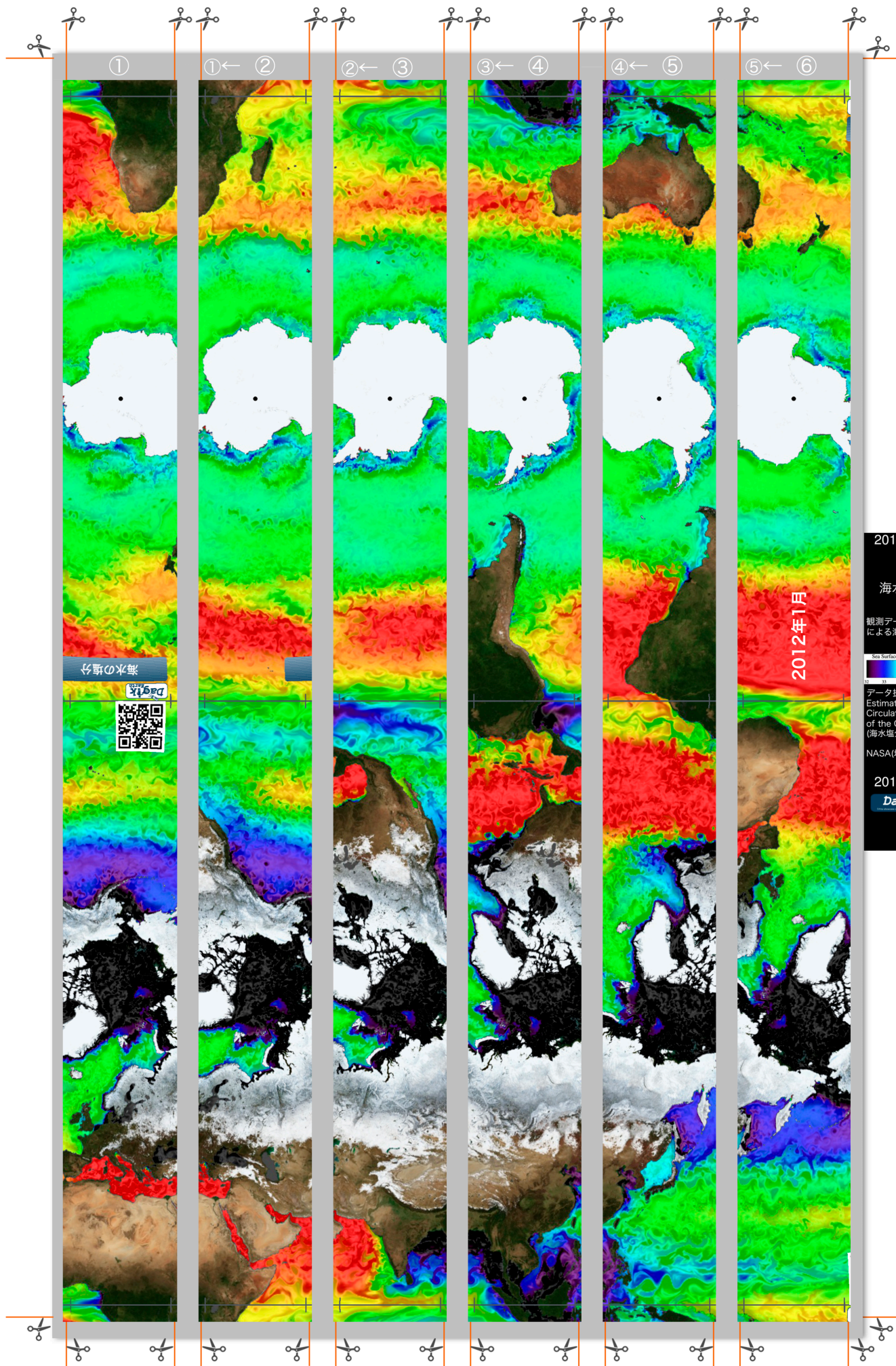
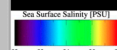




2012年01月

海水の塩分

観測データと数値モデル
による海面の塩分



データ提供：
Estimating the
Circulation & Climate
of the Ocean2(ECCO2)
(海水塩分データ)

NASA(地表画像)

2012年01月

Dagik

海面近くの海水の塩分を示しています。

観測で測られたデータをもとに、計算機シミュレーションを使って推定した値です。赤いところが塩分の高いところで、青や黒いところが塩分の低いところです。

海面近くの海水の塩分はおおよそ、1 リットルの水に大さじ 2 杯（36g）の塩を溶かしたくらいの濃度ですが、赤いところは、それに塩を1つまみ（1g）くらい余分に加えたくらいの塩分です。

データ:	NASAがMITらと共同で進めているECCO2による海面塩分濃度
データ提供:	Estimating the Circulation and Climate of the Ocean Phase II (ECCO2) http://ecco2.org/
データ画像提供:	Dagik Team
地表画像:	NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。海の色は変更してあります。
地表画像作成:	Reto Stockli (NASA Goddard Space Flight Center)
地表画像提供:	NASA Earth Observatory http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/
地表画像変更:	Dagik Team

コンテンツ説明：<http://dagik.org/A/7/1/>

手作り地球儀の作り方：帯型シート（直径 7.5cm）

準備するもの

- ・直径 7.5cm の球（ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など）
 - ・印刷する紙（再剥離タイプのノーカットラベルシートがお勧め）
 - ・カラープリンター（インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます）
 - ・カッターと定規（あるいはハサミでも）
 - ・スプーンなど硬いもの（貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います）
- 必要に応じて：**
- ・のり（ラベルシートではなく普通紙に印刷する場合は必要）
 - ・磁石や重り（ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入られます。発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます。）

（印刷する）

- (1) 拡大縮小をせずに **100%のサイズで印刷** します。（画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが **23.5cm** くらいに印刷されます。）

（切る）

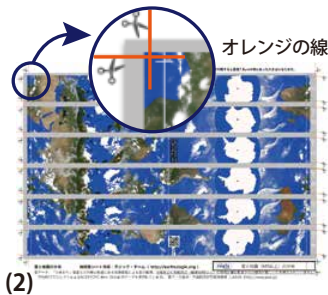
- (2) **オレンジの線**（灰色と画像の境界ではなく）でまっすぐに切り取り、6本の帯にします。

（貼る）

- (3) **数字の順番**に貼ります。まずは①の帯を貼りましょう。
- (4) カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります。数字が書いてある所を下に重ねよう。南極等の・マーク（黒点）も目印にしながら貼ります。
- (5) 球を両手で軽く握り、紙①をなじませます。
- (6) 次の②の帯を①の右側に貼ります。向きに注意してください。少しずつ重なるようになっていきますので、赤道の短いたて線マーク→を重ねてください。
- (7) あとは同じように繰り返し線や画像ができるだけずれないように重ねて貼り合わせましょう。

（シワを伸ばす）

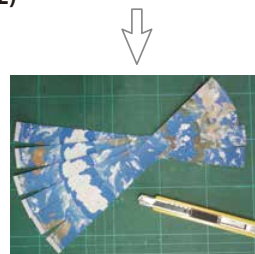
- (8) 貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中（丸い方）でこすって伸ばし、平らにしてください。全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、1枚の帯を貼るごとにこすっても良いです。



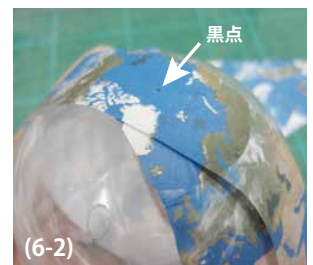
(2)



(6-1)



(3)



(6-2)



(4)



(7)